

豊平會報

北海学園大学同窓会 ● 編集責任者／福原正己 〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40 TEL 011-841-1161



C O N T E N T S

- 2 令和7年度評議員会開催
- 3 「同窓のタベ」開催ご案内
- 4 研究室のいま 手塚薫教授
- 5 第71回対東北学院大学総合定期戦
- 6 硬式野球部創部70周年記念祝賀会開催／全日本学生野球選手権大会で8強入り
- 7 大学オリジナルチョコレート缶の発売／卒業アルバム頒布販売
- 8 北海道開拓の村 旧北海中学校校舎の改修工事
- 9 工学部生命工学科の酵母研究／事務局長就任ご挨拶
- 10 学生服の襟章ご寄贈／大学校銘板について
- 11 同窓生のお店探訪
- 12 支部だより
- 13 令和6年度事業報告／令和7年度事業計画
- 14 令和6年度収支決算書
- 15 令和7年度収支予算書
- 16 事務局からのお知らせ



令和7年度 第74回全日本大学野球選手権大会に出場した本学硬式野球部は、6月9日に明治神宮野球場で上武大との1回戦を5-4で制し46年ぶりの全国大会勝利を収めた。

撮影者：穴戸浩起氏（経営学部Ⅱ部経営学科・平成31年卒業／Ⅱ部写真部、アルバム委員）

令和7年度評議員会開催 事業計画など原案どおり承認



令和7年度評議員会が6月20日（金）午後6時から札幌パークホテルにて開催され、卒業期評議員38名、地域・職域支部評議員24名、役員34名、計96名が出席した。

関寛会長からご参集への謝意が述べられた後、同窓会参与の小西政秀さんが4月に逝去されたことが報告され、物故された総ての会員に全員で黙祷を捧げた。

議長に元紺谷尊広氏（法Ⅰ法20期 昭61卒）、副議長に諏訪勝宏氏（経Ⅰ経38期 平3卒）、議事録署名人に内山隆史氏（経Ⅰ経36期 平元卒）、高田喜博氏（ゆうほう会・法研究科修士昭63修）が選出され議事に入った。

第1号議案

関会長より、木村勝照事務局長が今年の3月末をもって定年退職し、事務局長が不在であること、6月6日に開催された第1回幹事会で、新たな事務局長候補として事務局次長の福原正己氏が推薦されたことについて説明があり、役員（事務局長）の選任について諮った結果、拍手をもって承認された。

第2号議案

令和6年度事業報告並びに収支決算について、福原事務局長から報告が行われた。

初めに令和6年度に実施した事業全般についての報告が行われた。※複数ある内の3件を下記に記載した

- ・令和7年3月20日に開催された卒業祝賀会・新会員入会歓迎会は同窓会役員、評議員39名が出席し、新会員となる卒業生約600人が参加した。

- ・母校行事への協力として例年通り学生団体への助成を行った他、昨年に続き実施した豊平会100円満腹丼（6月7月の5日間1,750食提供）は行列ができるほど好評であった。

- ・令和6年10月26日に同窓会結成70周年記念式典を開催し、その後に開催された同窓の夕べ（総会・懇親会）の出席者は同窓生577名と来賓合わせて600名であっ

たことなどが報告された。

続いて収支決算報告が行われ、事業報告のとおり事業が執行され、詳細は決算書に記載のとおりであることが報告された。

なお、総会開催経費や卒業祝賀会・新会員入会歓迎会経費等の値上げに伴い支出が増えているため、今後は皆様のご意見を伺いながら、事業内容の見直しをしていきたいという説明があった。

第3号議案

監事を代表して斎藤博仁監事が監査報告を行い、2号議案、3号議案は原案通り承認された。

第4号議案

令和7年度事業計画（案）並びに予算（案）について福原事務局長から説明があった。

事業計画については、例年通りの事業内容を基に編成しており、令和7年10月25日（土）に全国支部長会議と同窓の夕べ（総会・懇親会）を開催すること、令和8年3月20日に卒業祝賀会・新会員入会歓迎会を開催することなどについて説明された。

令和7年度予算案については前年度の実績を基に予算化したのが、卒業祝賀会・新会員入会歓迎会経費や総会開催経費等の値上がり著しく、同窓の夕べの会費を7千円に値上げすることについて、ご理解をお願いしますという説明があった。

特別事業は70周年記念誌「北海学園大学同窓会結成70年のあゆみ」制作費として300万円を支出することについて説明があり、承認された。

第5号議案

同窓会第Ⅰ種奨学金について、福原事務局長から、今年度の対象者は、昨年同様、学部生19名、大学院生（修士課程）5名、合計24名に対して給付する予定であると説明があり承認された。

第6号議案

その他の意見、提案等があるか確認したが、質問もなく、評議員会は終了した。



日時

2025年10月25日(土)

受付 / 17:30 ~

総会 / 18:00 ~ 18:30

祝賀会・懇親会 / 18:30 ~ 20:30



会場

札幌パークホテル
3階パークホール札幌市中央区南10条西3丁目 TEL: 011-511-3131
(着席制・会場内禁煙)司会 / 森 基誉則・吉野 圭子
(学園大 OB・OG)賛助出演 / 現役学生
全学応援団指導部

会費

7,000 円 (税込)

豪華景品が当たる
学園グレートビンゴ!!

会券のお求めは、卒業期評議員・地域／職域支部評議員・同窓会事務局へ。
事前申し込み制とさせていただきます。
事務局にお申し込みの方は、10月10日(金)までにお申し込みください。
詳しくは同窓会事務局へお問合せください。

お申込み・お問合せ先

北海学園大学同窓会事務局 〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40 6号館1階

TEL: 011-841-1161 (代) 担当 / 三宅 (内線 1148) FAX: 011-841-8366

E-mail: dousou ☆ hgu.jp ※☆を@に変えてください



人文学部日本文化学科教授

手塚 薫

TEZUKA Kaoru

一担当科目

学士課程

修士課程

人類学

アイヌ文化論特殊講義

■経歴 1961年北海道出身（訓子府町生まれ）

■最終学歴 早稲田大学文学研究科博士後期課程中退 文学博士

■所属学会 日本文化人類学会、日本考古学協会、北海道・東北史研究会、北海道民族学会

■研究業績 2018年『アイヌ文化と森』（共編著）風土デザイン研究所、2022年『アイヌ文化史辞典』吉川弘文館（共編著）、2022年「北太平洋の毛皮交易とビーズ」池谷和信編『アイヌのビーズ』平凡社など

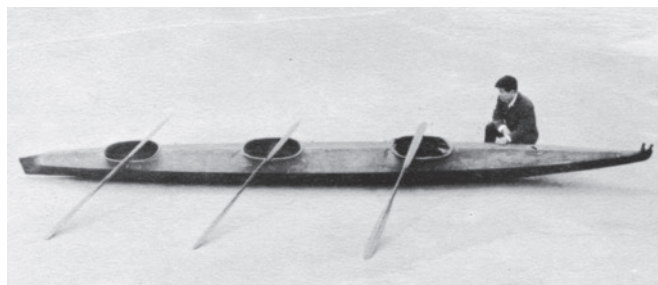
研究室のいま

千島列島の考古学調査

先史時代以降の千島列島への人の移住と適応というテーマについて米国やロシアの研究者らとともに2000年以来フィールドワークを実施している。調査が可能な夏季に調査船をチャーターし、2025年7月30日にM8.7の大地震があったカムチャツカ半島のペトロパブロフスク・カムチャツキー港から1～2か月かけて全長約1,200kmの千島列島を航海しながら、島に上陸しては遺跡の調査を繰り返す。調査を実現するためには多額の資金が必要であり、全米科学財団や日本学術振興会の支援は大いに役立った。現在、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻によって、国際的な連携の枠組みによる共同調査が棚上げ状態となっていることはたいへん残念である。

アイヌ文化は15世紀に北海道から千島列島に拡散し、17世紀末までにカムチャツカ半島のかなり広い範囲にその分布が確認されている。島への移住と島での生活に船をつくる技術は欠かせない。千島北部はツンドラ地帯のために森林が限定的で、流木を除き木材の調達が難しい。竪穴住居や船の材料、燃料などを求めてカムチャツカに進出したらしい。18世紀の初頭にはアイヌ文化の居住域は急速に縮小し、やがてカムチャツカから完全に撤退する。この背景には、ロシア人の到来と毛皮貢税をめぐる軋轢が影響している。

ところで、日本とロシアとの間で1875年（明治8）、樺太・千島交換条約を結び、樺太に所有していた権利をゆずり、千島全島を領有することで、両国の国境を画定した。翌年、開拓使長官黒田清隆らの調査隊が千島列島全域の視察を実施している。この際、千島中部の新知島で13軒の住居に57人のアリュート（アリュシャン列島の先住民）がいることを記録し、木枠を海獣の皮革で覆った3人乗りの皮舟（バイダルカまたはカヤック）を収集しており、函館市北方民族資料館で、今なお一般公開されている。この皮舟はアリュシャン列島やアラスカ海域で先住民によって利用されていたものと全く同一である。それもそのはずで、皮舟をたくみに操り、当時交易品として珍重されていたきわめて高価なラッコを捕らえるなど、優れた海獣狩猟技術をもっていた彼らは、ロシア人によってはるばるアリュシャン列島やアラスカからラッコの豊富な占守島、新知島、得撫島（ウルップ島）に移住させられ、毛皮獣猟に従事していたのである。



開拓使が新知島で収集した3人乗りのバイダルカ
（市立函館図書館で販売されている絵葉書より）

2年前、北米各地のミュージアムで先住民の多様な船に関する所蔵資料調査を行ったが、現在でも伝統的な技術を確認すべく研究者や愛好家の手によってかつての皮舟が製造されて実際に海上を走行することは珍しくない。現在はレジャーで幅広く利用されているカヤックであるが、このような歴史があったことを知る人は少ないのではなかろうか。



アラスカジュノー沖で復元したカヤックの操作性をたしかめる



千島列島全図

第71回対東北学院大学総合定期戦



東北学院大学との総合定期戦が6月20日(金)～22日(日)の3日間、札幌の地で開催されました。期間外に行われた競技も含めた公式戦19種目で熱戦が繰り広げられ、総合結果は本学7勝、東北学院大学11勝、1引き分けとなり、またしても総合優勝を逃すことになりました。

今回で第71回となった伝統ある総合定期戦ですが、ただの勝ち負けを超えたお互いを尊重し、絆を育む大会となっています。来年は仙台が舞台となります。OB・OGの皆さまには、引き続き学生たちへのご声援とご協力をお願いいたします。



試合結果

■公式戦

競 技 種 目	北海学園大学	東北学院大学
ソフトテニス(男子)	●(0)	— (5)○
ゴルフ	△(1)	— (1)△ (1分け)
柔道	●(1)	— (4)○ (2分け)
羽球(男子)	○(3)	— (2)●
アイスホッケー	●(2)	— (11)○
ライフル射撃	●(1776.5)	— (1786.6)○
弓道(男子)	●(68)	— (79)○
弓道(女子)	●(35)	— (50)○
準硬式野球	●(4)	— (8)○
アメリカンフットボール	○(21)	— (16)●
ラクロス(女子)	○(8)	— (4)●
ラクロス(男子)	○(5)	— (2)●
卓球(男子)	●(2)	— (5)○
バレーボール(女子)	●(1)	— (3)○
バレーボール(男子)	○(3)	— (0)●
少林寺拳法	●(8)	— (13)○
ボクシング	○(2)	— (1)●
剣道	●(2)	— (3)○
ハンドボール	○(44)	— (36)●
総合	7	11 (1分け)

■オープン戦

ソフトテニス部(女子)	●(1)	— (2)○
硬式庭球部(男子)	●(4)	— (5)○

硬式野球部創部70周年記念祝賀会開催



硬式野球部創部70周年記念祝賀会が令和7年3月8日(土)、札幌ガーデンパレスホテルで開催され、来賓、野球部OB、その他野球関係者総勢154名が出席いたしました。

硬式野球部OB会豊門会会長の今井雅文氏(昭50法)の挨拶の後、安酸敏眞北海学園理事長、森下宏美学長、札幌学生野球連盟の上野陽介理事長から祝辞を頂戴いたしました。続いて功労者表彰が行われ、関川和彦氏(昭30経済)、粟津靖男氏(昭40経済)、小林征志氏(昭41経済)、大石康文氏(昭52経済・営)、島崎圭介氏(平6経済・営)に、ガラス製の表彰状が贈られました。

関寛同窓会長による乾杯のご発声により和やかな雰囲気の中で祝宴が始まり、しばし歓談した後、各時代の代表者5名に野球部時代の思い出を語っていただき、厳しい監督に鍛えられたという話で会場が大いに盛り上がり、当時の監督の皆さんも懐かしそうに話を聞いておりました。

また、野球部長を長年にわたり務め3月で定年となられた加藤信行法学部教授に感謝状が贈られました。

その後、現在の主将である杉林蒼太さんと島崎圭介監督から力強い宣誓が行われると共に現在の野球部を支えるスタッフが紹介されました。

最後に野球部と共に学園大の歴史を刻んできた全学応援団指導部第71代千葉天満団長と左近団員、チアリーダー7名のエールによる学歌斉唱が行われ、山崎省一北海学園専務理事の万歳三唱をもって閉会となりました。



会場に展示された昭和50年代の全日本野球選手権大会記念ペナントや、硬式野球部、川越誠司選手、鈴木大和選手のユニフォーム

全日本学生野球選手権大会で8強入りを果たしました

令和7年度札幌学生野球連盟春季1部リーグにて本学硬式野球部は9勝1敗で4年ぶりの優勝を果たし、第74回全日本学生野球選手権大会に出場することになりました。

6月9日に行われた上武大学戦では5対4と46年ぶりの勝利を挙げ、続く6月12日に行われた佛教大学戦では7対1と快勝し、67年ぶりとなる2勝目を挙げて8強入りを果たしました。

準々決勝となる6月13日の試合は大会2連覇中の青山学院大学と対戦し、0対5と敗れて残念ながら準決勝進出はなりませんでしたが、この貴重な経験が今後の活躍に繋がるものと期待されます。

※表紙に上武大学戦で活躍する選手、応援団、チアリーダー、応援席の写真を掲載いたしました。

『北海学園大学×CACAOCAT』チョコレート缶が発売されます

北海学園大学と株式会社DADACAの主力商品である「CACAOCAT」がコラボレーションしたチョコレート缶が、2025年9月に発売されます。佐藤信経済学部教授、宮入隆経済学部教授、一関彩夏入試課職員発案のもと、経済学部の学生6名が集まり「北海学園大学として土産になるお菓子」づくりが行われました。“メイドイン北海道”にこだわる株式会社DADACAとのコラボレーションは、生活協同組合コープさっぽろ、株式会社ナシオの協力を得て実現。北海学園大学の名前を冠したお菓子の発売は創立以来初となります。

経済学部の学生6名と生活協同組合コープさっぽろが協力し、北海学園大学が有する5学部のイメージカラーを基に「CACAOCAT」がもつ30種類のチョコレートからフレーバーを厳選。大学のコミュニケーションマークを採用したオリジナルのデザイン缶に詰め合わせて販売。同梱されるリーフレットも、コンセプトに合わせて学生が作成しました。

なお、今回開発に携わった生活協同組合コープさっぽろ 高森雄輔商品開発部長、株式会社ナシオ 商品開発部 富永麻由美氏は本学の卒業生です。

「CACAOCAT缶ミックス10個入 北海学園大学」は2025年9月16日より北海学園生協、コープさっぽろの宅配サービスにて順次取り扱いが開始されます。北海学園生協での販売価格は1,980円(税込)。店頭では学生6名がそれぞれ作成したポップが装飾に使用されます。

なお、売り上げの一部は学生への奨学金として北海学園教育振興会に寄付されます。

ぜひ一度お買い求めのうえ、ご賞味ください。



CACAOCAT 缶ミックス10個入 北海学園大学



学生を交えた会議の様子

卒業アルバム頒布販売のお知らせ

同窓生の皆様で卒業アルバムをお持ちでない方のために、在庫のバックナンバー(1988年～2024年)と本年の卒業アルバムを頒布販売いたします。

ご希望の方は下記の制作担当、株式会社ラボットまでお問合せください。在庫僅少の年度もありますので、ご希望に添えない場合はご容赦ください。

価格 14,000円～18,000円(消費税、送料込)

株式会社ラボット 北海学園大学アルバム係
TEL & FAX: 011-815-5307
✉: hgu_album@labbott.co.jp



北海道開拓の村の旧北海中学校校舎の改修工事について

北海学園の歴史は今から遡ること140年、1885（明治18）年3月の北海英語学校創立に始まります。

140周年を迎えるこの記念すべき年に、北海道開拓の村では旧北海中学校校舎の改修工事が行われております。

創立時の校舎は市街地にありましたが、豊平に校地を取得して明治41・42年に新校舎が建築されました。

現在改修中の建物は明治42（1909）年に建築された校舎であり、北海中学校、北海高校で使用された後、昭和32（1957）年に北海高校から北海学園大学1号館西側に移築され、昭和56（1981）年まで大学で使用しておりましたのでご記憶の方もおられると思います。

旧北海中学校校舎



昭和57年北海道開拓の村に移築復元

明治42年に建築された正面校舎
(明治42年撮影)

屋根・門柱・窓の現況



この校舎が建築されてから116年、開拓の村に移築復元されてから43年が経過し老朽化が著しいことから来年（令和8年）1月の完成を目指し、屋根、外部、建具及び内部の改修工事が行われております。

上記写真は桎梏屋根破損の状況、私立北海中学校門柱、窓枠の塗装が剥離した状況です。

現在は工事中のため立ち入りできませんが、桎梏き屋根を鉄板菱葺き屋根に改修することにより外観が大きく変わるため、工事が始まる前に建物各所の写真を撮影させていただきました。

明治期の校舎の形を今に伝える北海学園の記念校舎でありますので、完成後は北海道開拓の村へ足をお運びいただき、当時の雰囲気を感じていただくと幸いです。

明治時代の面影を残す豊平校地の石造り書庫と北海高校正門前の赤松

1号棟（旧北駕文庫石造り書庫）



北駕文庫閲覧室と石造り書庫（明治44年撮影）と現在の石造り書庫
※大正5（1916）年に2階増築、昭和30（1955）年に現在地に移築

赤松



正門前の赤松（大正7年頃）
※現在の姿は次頁をご覧ください

工学部生命工学科の酵母研究について

工学部生命工学科では、2017年から卒業研究の一環として八剣山ワイナリーと連携しワイン造りに関する研究を行ってきました。2019年2月には、研究により選抜されたワイン醸造好適酵母「HGU-140」を使用し醸造した最初の赤ワインが完成し、その後も新たな酵母の選抜を続け、学園オリジナルワイン（赤・白・スパークリングロゼ）が同ワイナリーで醸造されております。

また、この7月には札幌市豊平区のブルワリー「TRANS BREWING」とのコラボレーションにより、クラフトビール『Lablogue（ラボログ）』が完成しました。

このビールには、生命工学科・新沼研究室の学生が研究活動を通じて選抜した酵母株が使用されており、発酵由来の香味を支える役割を果たしています。

商品名『Lablogue（ラボログ）』は、Lab（研究室）、Log（記録）、Dialogue（対話）の3語を組み合わせた造語です。ラベルには研究に取り組む学生の姿が描かれており、醸造を担当したブルワリーの皆様によりデザインされました。今後も、学生による酵母の研究・選抜を継続し、地域と連携した実践的な学びを深めていく予定です。



豊平校地のシンボリックツリーと土壌の採取について

5月のある日、工学部生命工学科の新沼協准教授から、豊平校地のシンボリックツリーはどこにありますかという問い合わせがありました。理由を尋ねると樹木下の土壌を採取し、ワインやビールの醸造に適する酵母を探し出したいということでした。先生の希望に沿うような樹木が豊平校地内にあるのか考えた結果、北海高校正門前の赤松がふさわしいということになり、先生に現在の赤松と明治、大正、昭和初期の赤松の写真をご覧になっていただき、「この木を豊平校地のシンボリックツリーにしましょう」ということになりました。

7月22日、先生に引率されて新沼研究室4年生の寺島優月さんと越智大輝さんが土壌採取にやってきました。初めに赤松の下で土壌や松ぼっくりを採取した後、多くの樹種がある場所に行き、杏、さくらんぼ、銀杏などの木の下で土壌や木の実など100サンプルを採取いたしました。

新沼先生が明治時代の校舎写真に写っている赤松（前ページ掲載写真）を見て、「この子ですね」と愛おしそうに仰っていたのが印象的です。ワインやビールに適した酵母が発見されるかもしれません。

（同窓会事務局長 福原正己）



シンボリックツリーの赤松と
オンコ、ツツジ類



赤松横のオンコの木の下で
土壌と松ぼっくりを採取



杏の木の下で土壌と杏の実を採取

事務局長就任にあたってのご挨拶

令和7年6月20日に開催された評議員会で、この3月に退任された木村勝照事務局長の後を仰せつかりました、法学部Ⅰ部法律学科昭和59（1984）年卒業の福原正己でございます。

同窓会事務局には昨年4月から勤務しており、役員、評議員をはじめ多くの同窓生の皆様にお会いできるという貴重な機会をいただき、日々の業務にあたっております。

この度、事務局長の任を拝命し、微力ではございますが誠心誠意務めてまいります。

本同窓会の会員数は今年の3月で9万9千6百余名を数え、来年3月には10万名の大台に達する大きな組織になりました。

諸先輩が長い時間をかけて築き上げてきた同窓生の絆をより良い形に発展させていくよう努力する所存でございますので、ご支援くださいますようお願い申し上げます。



学生服の襟章をご寄贈いただきました

石山玄一様（経済学部Ⅰ部 経済学科12期 昭和40年卒）から、一通のお手紙と共に学生時代に着用していた学生服の襟章をご寄贈いただきました。

北海学園大学の貴重な歴史資料として大切に保管いたします。石山様ありがとうございました。



暑い日が続いておりますが北海学園大学同窓会事務局の皆様方には益々ご清栄のことと存じます。

さて、この度千歳支部の総会が6月24日に開催されました。

大学時代の思い出に話がはずみ、古き良き札幌の昔を懐かしく語り合いました。

学生時代の話題に参考になればと思ひまして、襟章のコレクションを持参しましたが、参加者全員が見たことも着けたことも無いとの返答に時代の流れを深く感じました。

関寛会長には就任以来千歳支部の総会に御来席して頂き感謝申し上げます。

今回は手ぶらでお帰り願うのは心苦しく、総会の終了後コレクションを会長にお持ち帰りして頂くつもりでしたが残念ながらお仕事のご都合で参加されませんでしたので、勝手ながら事務局に送らせて頂きました。

学園大の歴史を物語る一品としてお納め願えれば幸甚に存じます。

2025年7月吉日

経済学部Ⅰ部 経済学科 第12期 森本ゼミ（地域開発論）

石山玄一



※下の写真は森本ゼミで卒論発表をする石山さん。現地調査時に録音した地元の人の声を再生しているところです。当時はオープンリールのテープレコーダーでした。

※襟章の取り付け位置については、主に①②③の単独使用か、①③または②③を左右の襟に着用していました。

※学生服は制服ではなく私服OKでしたが、卒業アルバムを見ると12期200名の内、140名が学生服を着用していました。

大学正門横の大学校銘板についてのお話

令和7年5月14日に同窓会の堀田昌資幹事、徳井孝生幹事、浅井理江幹事と高橋一彦氏が同窓会事務局を訪問され、学生時代に講義を受けた教室、図書館、部室、食堂等の施設を見学されました。

施設見学中に徳井さんから大学の正門を見せてほしいというお話があり、現地向かいました。

正門横には大学の校銘板（金属製箱文字）が取り付けられておりますが、徳井さんから「この文字を書いたのは私の父なんです」という突然のお話がありました。これを聞いた皆さんは、徳井さんのお父さんが書いたの、凄いねーといって真剣に見入っておりました。

平成6（1994）年10月の地下鉄東豊線「学園前」駅の開業と同時期に完成した大学正門ですが、学園施設の維持・管理を担当している杉本施設課長も「私が施設課に配属された年ですが、初めて聞きました」と驚いておりました。

施工時のエピソードを徳井さんに伺いました。



徳井孝生幹事 経済学部Ⅰ部経営学科 平成2年卒

当社（トクイ印房）はサイン看板製作会社様より、ロゴマークのデザインやトレース業務を請け負っており、その一案件としてこの看板の現版（毛筆筆耕）制作がありました。

当時よりフォント書体も多く使用されていましたが、力強さと優しさを持ち合わせた父 徳井四郎の「手書き」の毛筆筆耕を評価していただき、特に出来栄えにこだわったご注文であったように記憶があります。また、「子」の部分に父の癖があり、すぐに判別できます。こうして母校の正面にこれからも在り続けていただければ、亡き父共々大変嬉しく、同窓会幹事のお役をいただいたことも併せて、このご縁に深く感謝いたします。



RAMEN ICHI

札幌市中央区南6条西4丁目1-1
プラザ6.4ビル2F

盛 大地 さん

経営学部II部経営学科
第19期・令和7年卒業

北海高校に通っていたときからラーメン店めぐりに熱中していた私は、北海学園大学に入学してからは経営学を学んで、卒業後はラーメンで起業したいと考えるようになっていました。そのためにラーメン店でアルバイトをしていたのです。2年生はコロナ禍の逆風の中でしたが、3年生のときに知り合いの方が経営するラーメン店の店長になることができました。そこで経験を積むうちに、雇われ店長ではなくて自分の店を経営してみたい、という気持ちがさらに強くなりました。そして、ほんとうにありがたいことに、手持ちの開業資金はバイトで貯めた数十万円だけでしたが、その会社のサポートを受けながら2022年8月に独立・起業して誕生したのが「RAMEN ICHI」です。

味が重要なのは当然ですが、私は、お客さま一人ひとりにきちんと向き合う姿勢を大切にしたいと思いました。ネットを基盤にするビジネスのように、売上げや効率ばかりに目がいつては、私のやりたいラーメン店ではなくなります。その後「TSUKEMEN ICHI」と「豚骨拉麺大河」、「薄野軍鶏そば嶋や」の3店をオープンさせました。独立した当初は、味を究めて一流のラーメン職人になるのが目標だったのですが、自分の中で針路変更がありました。大きく言えば個人のレベルを越えて、飲食に携わるいろんな人たちの社会的地位を、もっと正高めていきたいと思うようになったのです。

飲食は農業や観光同様に北海道を代表する産業のはずですが、社会的な地位はまだまだだと思ひます。株式会社 ICHI には現在14名の社員がいて、平均年齢は23歳くらい。大手の飲食業ではいかに効率的に店を回すかが課題ですが、私はその逆を目指します。その方が経営者も社員もやりがいを感じられるからです。今年には東京にも店を出しますし、実はメキシコシティに出店する計画も具体化しています。同窓の皆様のご来店をお待ちしております。



RAMEN ICHI

営業時間 19:00-3:00 定休日 不定休



【姉妹店】

TSUKEMEN ICHI

札幌市中央区南5条西4丁目13

営業時間 19:00-3:00 定休日 不定休

豚骨拉麺大河

札幌市中央区南2条西7丁目1 M'sスペース2nd 1F

営業時間 11:00-15:00、18:00-23:30 定休日 不定休

薄野軍鶏そば嶋や

札幌市中央区南5条西3丁目10 ニューすゝきのビル1F

営業時間 18:00-3:00 定休日 不定休

支部だより(支部総会写真)

2025 (令和7) 年4月以降実施分



山岳部 OB 会 (4.12)



帯広信用金庫支部 (5.17)



小樽支部 (5.23)



北海学園大学支部 (5.23)



札幌南区支部 (5.25)



江別市役所支部 (5.30)



グリークラブ OB 会 (5.31)



経五期会 (6.5)



静内支部 (6.6)



岩見沢市役所支部 (6.13)



関西支部 (6.14)



応援団 OB 尚志会 (6.20)



北翔会 (6.20)



千歳支部 (6.24)



道南支部 (6.27)



アメリカンフットボール OB 会 (6.28)



木端会 (7.11)



自衛隊支部 (7.12)



札幌東区支部 (7.15)



札幌市役所支部 (7.29)

令和6年度 事業報告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

I. 一般事業

1. 豊平会報の発行

豊平会報 第92号	送付	6.4.	5	経・営・法・人・工学部の住所確定会員40,549名に送付
豊平会報 第93号	印刷・送付	6.9.24		経・営・法・人・工学部の住所確定会員41,030名に送付
		6.9.30		新会員(令和6年9月卒業)73名に配布
豊平会報 第94号	印刷・配布	7.3.20		新会員(令和7年3月卒業)1,635名、及び予備会員(在学生)にも配布した。

2. 新会員名簿の作成(豊平会名簿 令和5年度版)

令和5年度新会員(5回(6月3日、11日、19日、27日、7月3日)、計1,750名)を作成した。

3. 「卒業祝賀会・新会員入会歓迎会」の開催

7.3.20	卒業証書・学位記授与式終了後、新会員(1,635名)を招き大学・学生自治会と共に、午後2時より札幌パークホテルB2Fパークプラザで、同窓会役員・支部長・評議員(卒業期・地域・職域)が出席し、卒業祝賀会を開催した。
--------	--

4. 母校行事への協力

お祝いの看板(祝卒業)	7.3.	7	豊平 3号館 学生玄関、4号館 入口前門柱 山鼻 工学部 1号館南柱、3号館入口
" (祝入学)	7.3.25		豊平 3号館 学生玄関、4号館 入口前門柱 十月祭・工学祭・対東北学院大学定期戦 全国大会出場・定期公演・演奏会等助成 体育会系19団体・文化会系9団体

100円食堂の実施
・学生の経済支援と健康管理のため同窓会が費用の一部を負担し、「豊平会100円満腹片」と称し学生食堂で一日350食(豊平300食・工学部50食)×5回(6月3日、11日、19日、27日、7月3日)、計1,750食を提供した。

5. 支部等との連携強化と育成(支部等活動状況～同窓会本部に連絡のあった分)

4/13	山岳部OB会総会	6/21	北理会	10/4	江別支部総会
5/18	帯広信用金庫支部総会	6/28	木曜会総会	10/26	会計学友会総会
5/24	小樽支部総会	7/5	道南支部定時総会	11/1	釧路支部60周年記念式典・総会
5/25	グリーンクラブOB会総会	7/6	応援団創団70周年記念総会	11/9	東京支部首脳会支部総会
5/26	札幌南区支部総会	7/10	札幌東区支部総会	11/9	根室支部総会
5/31	北海道大学支部総会	7/13	自衛隊支部総会	11/15	北見支部総会
5/31	江別市役所支部総会	7/18	札幌市役所支部総会	11/20	旭川支部総会
6/5	経五期会総会	8/11	アメリカンフットボール部50周年記念式典	12/10	苫小牧支部総会
6/5	静内支部総会	8/30	東園会総会	1/8	豊陽会総会
6/8	関西支部総会	9/5	ゆほう会総会	1/29	稚内支部総会
6/14	岩見沢支部総会	9/27	経八期会総会	2/15	北社会総会
6/27	千歳支部総会	10/2	蛸牛会総会	3/8	硬式野球部OB会創部70周年記念式典

6. 大学・同窓会のオリジナルグッズ等について、同窓会結成70周年にむけて充実を図った。

同窓会結成70周年を記念クリアフォルダーを作成し式典資料を入れて配布した他、学園オリジナルワイン用の記念ラベルを作成し、同窓のタペでは、このラベルを貼付した学園スパークリングワインで乾杯した。

7. 全国支部長会議・総会・懇親会の開催

6.10.26	七十周年記念式典	午後3時から同窓会結成七十周年記念式典を開催し、表彰規程に基づき、対象となる役員及び期別評議員へ感謝状を贈呈した 午後6時から開催された総会・同窓のタペでは、新たに加入した支部へ支部旗を贈呈すると共に、表彰規程に基づき個人・団体へ表彰状を授与した。 出席者は同窓生577名と来賓20数名合せて600名であった。
	総会・懇親会	

8. 諸会議の開催

会計監査	6.5.8	(1) 令和5年度決算について (2) その他
幹事会 (第1回)	6.6.7	(1) 令和5年度事業報告並びに取次決算について (2) 監査報告について (3) 令和6年度事業計画(案)・予算(案)について (4) 評議員の補充について (5) 役員の改選について (6) 会則の改正について (7) 同窓会奨学金について (8) アメリカンフットボール部OB会の支部加入について (9) その他
(第2回)	6.9.5	(1) 同窓会結成70周年記念事業について (2) 令和6年度「総会・懇親会」の開催について (3) 令和6年度一般会計予算の訂正について (4) その他
(第3回)	7.1.10	(1) 令和6年度「卒業祝賀会」について (2) 体育会ボクシング部北奉会の支部設置申請について (3) 経八期会の解散に伴う退会届の提出について (4) その他
評議員会	6.6.21	(1) 令和5年度事業報告並びに決算について (2) 監査報告について (3) 令和6年度事業計画(案)並びに予算(案)について (4) 評議員の補充について (5) 役員の改選について (6) 会則の改正について (7) 同窓会奨学金について (8) アメリカンフットボール部OB会の支部加入について (9) その他
結成七十周年記念式典	6.10.26	(1) 同窓会結成70周年記念式典開催 (2) 令和6年度「総会・懇親会」開催 (3) 令和6年度事業計画について
正副会長会議 (第1回)	6.5.21	①会則・組織検討委員会 新役員、新評議員、新幹事、表彰規程及び慶弔規程 ②企画等委員会 70周年記念式典、記念誌発行、記念事業委員会 ③広報・母校連携委員会 同窓会アプリの運用、大学通信「大学プレスセンター」へ配信、100円食堂山鼻でも実施、歴史資料の保存、記念誌はじまりの10年
(第2回)	6.8.30	(2) 第1回幹事会の議題について (3) その他 (1) 企画等委員会委員編成について (2) 同窓会結成70周年事業計画委員(①式典・祝賀会、②記念誌)編成について
(第3回)	6.12.2	(3) 同窓会結成70周年事業計画について (4) その他 (1) 会則組織検討委員会 (2) 七十周年記念誌の発行について (3) その他
(第4回)	7.3.3	(1) 令和6年度卒業祝賀会の次第、役割分担について (2) 七十周年記念誌の進捗状況及び工程について (3) 令和7年度予算(案) (4) その他
企画等委員会 (第1回)	6.4.16	(1) 同窓会結成70周年記念事業について
(第2回)	6.8.1	(1) 同窓会結成70周年記念事業について
(第3回)	6.10.1	(1) 同窓会結成70周年記念事業について
(第4回)	6.10.18	(1) 同窓会結成70周年記念事業について
(第6回)	7.2.28	(1) 令和6年度卒業祝賀会について
広報・母校連携等検討委員会 (第1回) 書面開催	6.4.16	(1) 広報活動について (2) 母校連携について (3) 寄付活動の推進について
会則・組織検討委員会 (第1回)	6.4.15	(1) 役員の任期制限・定年制についての協議 (2) 慶弔規程の制定についての協議 (3) その他
学内事務局議 (第1回)	6.5.29	(1) 第1回「幹事会」の開催について (2) その他
(第2回)	6.6.19	(1) 「評議員会」の開催について (2) その他
(第3回)	6.10.21	(1) 同窓会結成70周年記念式典・同窓のタペ・懇親会について (2) その他
(第4回)	6.12.17	(1) 第3回「幹事会」の開催について
(第5回)	7.3.13	(1) 令和6年度卒業祝賀会について (2) その他
会報部会 (第1回)	6.6.14	(1) 「豊平会報」第93号の編集について (2) その他
(第2回)	6.11.8	(1) 「豊平会報」第94号の編集について (2) その他

II. 特別事業

- 学園創基・大学創立及び本会結成を記念した国際交流基金造成事業として、北海学園国際交流基金へ寄付を継続してきたが、北海学園が同基金を取り崩し、学園設置校の国際交流教育活動への効果的な支出ができる国際交流教育振興基金としたため、本会としては引き続き国際交流事業を継続し、100万円を国際交流教育振興基金に寄付をした。(34回目)
- 北海学園大学同窓会奨学支援規程及び同実施細則に基づく本会奨学事業を実施するため、学部学生19名に228万円、大学院修士課程学生5名に60万円を奨学金として支出した。
○奨学事業の実施に関する諸会議
(学部)奨学生選考委員会 書面表決 奨学金選考委員(正副会長7名・事務局2名)によって選考した。
奨学生認定授与式 奨学生12名教員8名正副会長7名職員9人が参加して、大学4号館10階会議室で実施した。
(大学院)奨学金 6.10.10 修士課程大学院生5名に奨学金を支出した。

令和7年度 事業計画

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

北海学園大学同窓会は、会則第2条に掲げる目的達成のため以下の事業を行う。

I. 一般事業

1. 会報の発行

- ・会員に豊平会報第95号・第96号を発行し、併せて予備会員(在学生)にも配布する。

2. 会員管理

- ・同窓会ホームページを令和4年度に更新したが、引き続き機能向上に努め、会員相互の親和性向上を図る。
- ・新会員名簿の作成:令和6年度新会員(令和6年9月・令和7年3月卒業)の名簿整理を行い、事務局保管用の冊子を作成する。

3. 卒業祝賀会・新会員入会歓迎会の開催

- ・令和7年度卒業祝賀会・新会員入会歓迎会を、大学院、大学の卒業証書・学位記授与式(3月20日(金・祝))終了後、大学・学生自治会と共に開催する。開催経費の値上りに加え、コロナ禍前と比較すると参加者数が大幅に減少しているため、今後のあり方について精査する。

4. 母校行事への協力

- ・予備会員である在学生及び課外活動に対して助成を引き続き行う。学校行事を通じて、大学との交流を促進する。
- ・大学と同窓会とで意見交換を行い、相互に連携し合うことにより、母校発展の礎となる取り組みを企画・実現する。

5. 支部等との連携強化と育成

- ・地域支部・職域支部・同期会・クラブOB会などと連携を深め、支部活動や同期会・OB会活動を活性化するとともに、要請がある場合は「個人情報保護法」に基づき利用目的を明示したうえで会員情報の提供を行い、支部活動の支援を図る。また、支部の活動活性化のため引き続き助成を行う。

6. 同窓会記念品の作成

- ・オリジナルグッズについては、事業を進めていく中で必要に応じて作成する。

7. 全国支部長会議・総会・懇親会の開催

- ・全国支部長会議を10月25日(土)に開催して各支部の活動報告と意見交換を行い、終了後に同窓のタペ(総会・懇親会)を開催する。

8. 諸会議の開催

- ・評議員会、幹事会を開催し会務の充実発展に努める。

9. 同窓会会議室の利用促進

- ・令和4年12月から使用を開始した「同窓会会議室」について、引き続きより有効な活用方法の検討を図る。

10. 保守・運営委託業務

- ・本年度の会員数が約9万9千6百余名と、まもなく10万名の大台に届こうとしているものの、会報発送数は辞退者が多く4万～4万1千台で足踏みしており、この傾向は若年層で顕著である。
- ・また、郵送費の値上げも見込まれることから、同窓会ホームページや同窓会アプリの活用を推進するため適切な保守管理を行う。
- ・広報活動強化のため、株式会社ラボット(同窓会デジタルアーカイブスの作成)と引き続き業務委託契約を行う。

11. 歴史、資料の保存

- ・本学及び同窓会の歴史資料及び令和5年度に始めた同窓生からの聞き取り内容を冊子として制作し、令和6年度の同窓のタペで配布したが、今後も写真等の資料収集と聞き取り調査を継続していく。

II. 特別事業

1. 国際交流教育振興資金

- ・同資金は、学校法人北海学園が、北海学園創基・大学創立及び本会結成を記念し、国際交流基金造成事業として、北海学園国際交流基金を設立したため、本会はこの趣旨に賛同し、寄付を継続してきたものである。以後、学園設置校の国際交流教育活動への効果的な支出を行うため、同基金を取り崩し、現在は、国際交流教育振興資金として運用されている。今年度も引き続き100万円を寄付する(35回目)。

2. 同窓会奨学費

- ・北海学園大学同窓会奨学支援規程及び同実施細則に基づく本会奨学事業を実施する。
- ・学部生19名分228万円、大学院修士課程5名分60万円、計288万円の奨学事業を実施する。

3. 同窓会結成70周年記念誌の制作

- ・昨年度は同窓会結成70周年記念式典・祝賀会を盛會理に終えることができた。これを記念し、平成27年度から令和7年3月卒業祝賀会までの10年間の事業を記録した記念誌「北海学園大学同窓会結成70年のあゆみ」を制作する。

令和6年度 一般会計収支決算書

自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日 (単位: 円)

勘定科目	予算額	決算額	差異	摘 要
(収入)				
前年度繰越金	20,904,510	20,904,510	0	
同窓会費 当年度繰入分	27,450,000	27,450,000	0	A予備会費より繰入 ¥15,000×1,830名(令和2年度入学者分)
同窓のタベ会券収入	2,500,000	2,885,000	－385,000	@5,000×577名
諸会議収入	350,000	254,000	96,000	@1,000×104名 @5,000×24名 @3,000×10名
雑収入	200,000	213,794	－13,794	「同窓のタベ」ご祝儀(9名) ¥170,000 エンブレム@3,000×8個 ¥24,000 経八期会解散に伴う交付金返還 ¥9,794 寄付金(川畑政己氏/昭57経Ⅱ) ¥10,000
受取利息①	2,000	2,731	－731	B定期預金利息
受取利息②	1,000	10,025	－9,025	普通預金利息 ¥10,025
合計	51,407,510	51,720,060	－312,550	

勘定科目	予算額	決算額	差異	摘 要
(支出)				
事業費	[25,300,000]	[22,559,964]	[2,740,036]	『豊平会報』印刷 93号(44,000部) ¥1,171,280 94号(43,500部) ¥1,253,670発送 費 92号(40,549通) ¥2,960,077 93号(41,030通) ¥2,995,190 92・93・94号発 送諸経費 ¥1,553,748 93・94号取材諸経費 ¥15,550 会報部会(2回) ¥22,356
会報発行費	10,500,000	9,971,871	528,129	WEBサイト調整 ¥99,000 豊平会名簿印刷(令和6年度版) ¥209,000 住 所変更届料金別納 ¥352,141 会員住所確認調査経費 ¥16,500
会員管理費	500,000	676,641	－176,641	新会員歓迎経費(大学と共催) ¥4,079,825 ビンゴゲーム景品代 ¥354,980 卒業記念品(テントクロス保冷温トート 1,900個) ¥1,442,100 「卒業祝賀 会」看板代 ¥59,400 ビデオ・写真 ¥110,000 学生アルバイト料 ¥85,000
新会員歓迎費	6,800,000	6,131,305	668,695	学生団体助成 ¥272,250 看板(祝入学・卒業) ¥49,170 体育系9団体 ¥650,000 文化系9団体 ¥230,000 100円食堂 ¥875,000
母校行事協力費	3,500,000	2,076,420	1,423,580	支部総会開催助成(旭川・アメリカンフットボール部OB会・岩見沢市役所・ 江別市役所・江別・応援団OB尚志会・小樽・帯広信金・会計学友会・ 関西・北見・釧路・グリーンクラブOB会・硬式野球部OB豊門会・木端会・ 札幌市役所・札幌東区・札幌南区・山岳部OB会・自衛隊・静内・千歳・ 東園会・東京・道南・苫小牧・根室・豊陽会・北翔会・北社会・北海 学園大学・ゆうほう会・稚内経五期会・経八期会・蛸牛会)支部活動支援 費(サッカー部OB会)評議員会旅費等
支部活動支援費	4,000,000	3,703,727	296,273	
同窓会記念品作成費等	0	0	0	
会議開催費	[2,200,000]	[2,411,988]	[－211,988]	評議員会 ¥1,298,200 幹事会(3回) ¥793,800 正副会長会議 ¥105,500 企画等委員会(5回) ¥104,544 事務局会議(5回) ¥86,184 70周年記 念誌編集委員会 ¥23,760
総会開催費	0	0	0	
諸会議費	2,200,000	2,411,988	－211,988	
特別事業費	[5,880,000]	[5,880,000]	[0]	国際交流に寄与する資金として北海学園へ寄付(34回目)
国際交流教育振興資金	1,000,000	1,000,000	0	奨学金事業 ¥120,000×24名＝¥2,880,000 ＊内訳 大学19名・大学院5名
同窓会奨学費	2,880,000	2,880,000	0	特別事業予算へ繰り出し(3年計画の3年目)
同窓会結成70周年事業費	2,000,000	2,000,000	0	会員等通信費 ¥398,635 封筒印刷 ¥29,150 電話通信料 ¥205,055 手数料 ¥134,530 事務用品 ¥526,472 資料購入・お茶 ¥512,753 慶弔費 ¥50,000 ハイヤー代 ¥199,770
総務・事務局運営費	[1,800,000]	[2,056,365]	[－256,365]	ホームページ管理費 ¥12,100 パソコンセキュリティ ¥5,500 デジタルアー カイブス ¥300,000
保守運用委託料	[1,100,000]	[574,870]	[525,130]	大学プレスセンター ¥220,000 同窓生インタビュー諸経費 ¥4,600 プリント 保守料金 ¥32,670
備品費	[500,000]	[264,265]	[235,735]	プリンター(更新) ¥179,465 空気清浄機2台(更新) ¥84,800
予備会費返戻費	[150,000]	[0]	[150,000]	
予備費	[14,477,510]	[0]	[14,477,510]	
次年度繰越	[0]	[17,972,608]	[－17,972,608]	
合計	51,407,510	51,720,060	－312,550	

令和6年度 予備会費収支決算書

自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日 (単位: 円)

勘定科目	予算額	決算額	差異	摘 要
(収入)				
予備会費(前年度繰越分)	115,590,000	115,590,000	0	令和2年度 ¥27,450,000 令和3年度 ¥27,945,000 令和4年度 ¥30,705,000 令和5年度 ¥29,280,000 令和6年度繰入・大学院 ¥210,000
予備会費(当年度分)	28,260,000	30,750,000	－2,490,000	令和6年度入学 2,050名 ※修学支援新制度利用(166名) ¥2,490,000含む
予備会費(令和7年度繰入・大学院)	0	75,000	－75,000	令和7年度繰入・大学院 5名
受取利息	2,000	2,731	－731	
合計	143,852,000	146,417,731	－2,565,731	

勘定科目	予算額	決算額	差異	摘 要
(支出)				
一般会計へ繰り出しA	27,450,000	27,450,000	0	会費 令和2年度入学生(令和5年度卒業生)
一般会計へ繰り出しB	2,000	2,731	－731	予備会費受取利息
次年度繰越	116,400,000	118,965,000	－2,565,000	令和3年度 ¥27,945,000 令和4年度 ¥30,705,000 令和5年度 ¥29,280,000 令和6年度 ¥30,960,000 令和7年度繰入・大学院 ¥75,000
合計	143,852,000	146,417,731	－2,565,731	

令和6年度 特別事業収支決算書

自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日 (単位: 円)

勘定科目	予算額	決算額	差異	摘 要
(収入)				
前年度繰越金	71,375,149	71,375,149	0	
特別事業積立金収入	2,000,000	2,000,000	0	同窓会結成70周年事業費(3年計画の3年目)
森本正夫先生顕彰事業寄付金	0	0	0	
受取利息	1,000	32,592	－31,592	
(予備会費)次年度繰越	0	0	0	
合計	73,376,149	73,407,741	－31,592	

勘定科目	予算額	決算額	差異	摘 要
(支出)				
結成70周年記念事業費 特別事業積立金分	6,000,000	8,968,985	－2,968,985	印刷諸費 ¥556,600 記念式典 ¥646,910 室料 ¥489,670 飲食代 ¥4814,550 施設設備使用料 ¥440,325 ビンゴ ¥684,230 お礼・謝金 ¥695,200 配膳サー ビス ¥176,000 記録保存費 ¥243,550 案内看板他 ¥142,960 交通費 ¥78,990
特別事業費(記念誌発行・オリジナルグッズ作成)	2,800,000	2,872,760	－72,760	『はじまりの10年』制作一式 ¥2,287,560 オリジナルグッズ作成 ¥486,200 パネル製作 ¥99,000
特別事業費(同窓会アプリ開発)	1,500,000	1,485,000	15,000	同窓会アプリ開発第2弾 ¥1,485,000
次年度繰越	63,076,149	60,080,996	2,995,153	
合計	73,376,149	73,407,741	－31,592	

(一般会計)

令和7年度 一般会計収支予算書

(収入)					自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日 (単位 円)
勘定科目	本年度予算額	前年度(令和6)決算額	差異	摘 要	
前年度繰越金	17,972,608	20,904,510	－2,931,902		
同意会費 当年度繰入分	27,945,000	27,450,000	495,000	A予備会費より繰入 ￥15,000×1,863名(令和3年度入学者分)	
同意の夕べ会券収入	4,060,000	2,885,000	1,175,000	@7,000※580名	
諸会議収入	350,000	254,000	96,000	@5,000※40名 @1,000※150名	
雑収入	200,000	213,794	－13,794	ご祝儀他	
受取利息①	40,000	2,731	37,269	B予備会費受取利息から一般会計へ振替	
受取利息②	10,000	10,025	－25	一般会計口座・奨学金口座受取利息から一般会計へ振替	
合計	50,577,608	51,720,060	－1,142,452		

(支出)					
勘定科目	予算額	前年度決算額	差異	摘 要	
事業費	[24,500,000]	[22,559,964]	[1,940,036]		
会報発行費	11,000,000	9,971,871	1,028,129	『豊平会報』95号・96号印刷代 発送費代、取材諸経費 会報部会開催費	
会員管理費	800,000	676,641	123,359	Webサイト改修・住所変更後納・名簿作成等	
新会員歓迎費	6,200,000	6,131,305	68,695	入会式 卒業記念品 卒業生学生代表委嘱状印刷	
母校行事協力費	2,000,000	2,076,420	－76,420	学生団体助成(大学祭・体育文化団体・大学祭)	
支部活動支援費	4,000,000	3,703,727	296,273	支部総会開催助成・全国支部長会議・評議員会・会議等出席旅費	
同意会記念品作成費等	500,000	0	500,000	オリジナルグッズ作成費等	
会議開催費(旧總會費)	[10,700,000]	[2,411,988]	[8,288,012]		
総会開催費	8,000,000	0	8,000,000	総会開催経費	
諸会議費	2,700,000	2,411,988	288,012	評議員会・幹事会他	
特別事業費	[3,880,000]	[5,880,000]	[－2,000,000]		
国際交流教育振興資金	1,000,000	1,000,000	0	国際交流に寄与する資金として北海学園へ寄付(35回目)	
同意会奨学金	2,880,000	2,880,000	0	奨学金事業 ￥120,000×19名＝¥2,280,000 修士課程 ￥120,000×5名＝¥600,000	
同意会結成70周年事業費(積立分)	0	2,000,000	－2,000,000	特別事業予算へ繰り出し(令和4～6年度3年計画 令和6年度完了)	
総務・事務局運営費	[2,000,000]	[2,056,365]	[－56,365]	事業記録作成・通信費運搬費・封筒印刷・慶弔費・振込手数料・交通費他	
保守運用委託料	[500,000]	[574,870]	[－74,870]	HP管理費・デジタルアーカイブス記録作業・広報発信の業務委託	
備品費	[500,000]	[264,265]	[235,735]	事務室備品整備他	
予備会費返戻費	[150,000]	[0]	[150,000]	退学者の申し出による会費の返戻	
予備費	[8,347,608]	[0]	[8,347,608]		
次年度繰越	[0]	[17,972,608]	[－17,972,608]		
合計	50,577,608	51,720,060	－1,142,452		

(予備会費)

令和7年度 予備会費予算書

(収入)					自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日 (単位 円)
勘定科目	予算額	前年度決算額	差異	摘 要	
予備会費(前年度繰越分)	118,890,000	115,380,000	3,510,000	予備会費令和3年度～令和6年度入学者 令和3年度 ￥27,945,000 令和4年度 ￥30,705,000 令和5年度 ￥29,280,000 令和6年度 ￥30,960,000	
予備会費(前年度繰越分)	75,000	210,000	－135,000	令和7年度編入・大学院 ￥75,000	
予備会費(当年度分)	31,635,000	30,750,000	885,000	令和7年度入学 2,109名 ※修学支援新制度利用(239名) ￥3,585,000含む	
予備会費(編入学者分前受分)		75,000	－75,000	過年度分前受収入(編入・大学院前受分)	
受取利息	40,000	2,731	37,269		
合計	150,640,000	146,417,731	4,222,269		

(支出)					
勘定科目	予算額	前年度決算額	差異	摘 要	
一般会計へ繰り出しA	27,945,000	27,450,000	495,000	会費令和6年度卒業生(令和3年度入学者 1,863名)	
一般会計へ繰り出しB	40,000	2,731	37,269	予備会費受取利息	
予備会費(繰越分)	122,655,000	118,965,000	3,690,000	予備会費令和4年度～令和7年入学者 令和4年度 ￥30,705,000 令和5年度 ￥29,280,000 令和6年度 ￥30,960,000 令和7年度 ￥31,710,000(前年度繰越 ￥75,000を含む)	
合計	150,640,000	146,417,731	4,222,269		

(特別事業)

令和7年度 特別事業収支予算書

(収入)					自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日 (単位 円)
勘定科目	予算額	前年度決算額	差異	摘 要	
前年度繰越金	60,080,996	71,375,149	－11,294,153		
特別事業積立金収入	0	2,000,000	－2,000,000	同意会結成70周年事業費として、事業年(令和6年度)迄三年間積立	
受取利息	33,000	32,592	408		
合計	60,113,996	73,407,741	－13,293,745		

(支出)					
勘定科目	予算額	前年度決算額	差異	摘 要	
結成70周年記念事業費 特別事業	0	8,968,985	－8,968,985	同意会結成70周年記念式典・総会懇親会	
特別事業費	3,000,000	2,872,760	127,240	70年記念誌「北海学園大学同意会結成70年のあゆみ」制作費	
	0	1,485,000	－1,485,000	同意会アプリ開発	
次年度繰越	57,113,996	60,080,996	－2,967,000		
合計	60,113,996	73,407,741	－13,293,745		

事務局からのお知らせ

◆支部長交代のお知らせ

石狩市役所支部 令和7年4月1日付
安崎 克仁氏⇒小島 郁也氏(工・建19期・平成2年卒業)

北杜会 令和7年4月1日付(評議員兼務)
久野 俊一氏⇒藤本 和伸氏(工・土12期・昭和58年卒業)

山岳部OB会 令和7年4月12日付(評議員兼務)
小幡 隆氏⇒村上 敬夫氏(経I営10期・昭和53年卒業)

帯広信用金庫支部 令和7年5月17日付
横内 寿一氏⇒瀬瀬 博之氏(経I営25期・平成5年卒業)

江別市役所支部 令和7年5月30日付
佐藤 民雄氏⇒白崎 敬浩氏(経I経36期・平成元年卒業)

北見支部 令和7年8月8日付(評議員兼務)
小林 博氏⇒田村 友朗氏(工・建10期・昭和56年卒業)

◆支部評議員交代のお知らせ

石狩市役所支部 令和7年4月1日付
伊藤 英司氏⇒松永 実氏(経I経41期・平成6年卒業)

岩田地崎建設支部 令和7年4月1日付
太田 雅彦氏⇒齋藤 一守氏(経II経37期・平成5年卒業)

帯広信用金庫支部 令和7年5月17日付
阿部 秀男氏⇒横内 寿一氏(経I営24期・平成4年卒業)

◆訃報

小西 政秀氏
経I経7期 昭和35年卒業
参与(平成3年～)、幹事(昭和35年～平成2年)
令和7年4月20日逝去(90歳)



謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

◆FAX 番号とメールアドレス変更のお知らせ

同窓会事務局のFAX番号とメールアドレスが4月1日より下記の通り変更になりましたのでお知らせいたします。

FAX : 011-841-8366

E-Mail : dousou ☆ hgu.jp

※☆を@に変えてください

電話番号につきましては変更ございません。

◆北海学園大学『学報』・北海商科大学『学報』・北海校校友会『校友だより』

各校の学報や校友だよりは、下記QRコードよりご覧いただけます。

北海学園大学
『学報』



北海商科大学
『学報』



北海校校友会
『校友だより』



北海学園大学同窓会公式サイトはこちら
URL : <https://dousou.hgu.jp/>

住所変更の際はご連絡をお願いします

お手数でも同封の「住所等変更届はがき」(無料)、または下記QRコードよりお知らせくださいますようお願いいたします。その他のご連絡、会報が不要な方は通信欄にご記入ください。発送作業の関係上、変更が間に合わない場合がございます。また、記入漏れにより変更手続きができない場合がございますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。個人情報同窓会活動以外には使用いたしません。



北海学園大学同窓会

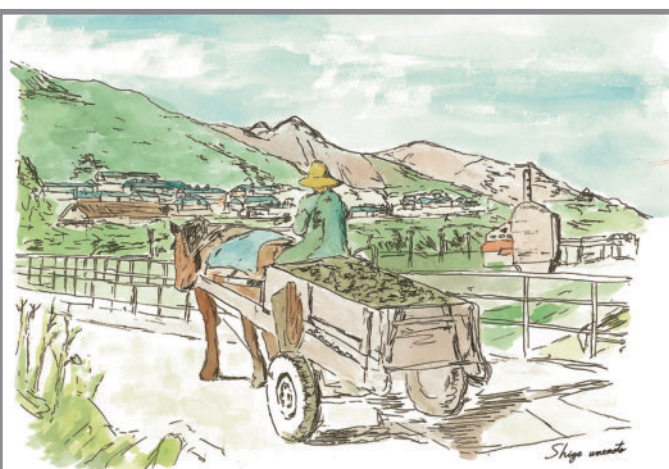
〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40

TEL : 011-841-1161 (内線1148・1168)

FAX : 011-841-8366

E-Mail : dousou ☆ hgu.jp ※☆を@に変えてください

ホームページ : <https://dousou.hgu.jp/>



北海道
ノスタルジー散歩
Vol.05

「通い慣れた炭鉱(ヤマ)の道
夕張 高松」

梅本 成利 作

経済学部I部経済学科 第29期・昭和57年卒業